

# 令和 7 年度 長崎県地域年金事業運営調整会議資料

令和7年 8 月20日



**日本年金機構**

Japan Pension Service

# 目 次

I. 地域年金展開事業の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
II. 令和6年度事業実施結果報告（令和6年4月～令和7年3月）	・・・・・・	P 4
III. 令和7年度事業計画	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 24

# I . 地域年金展開事業の概要

# I. 地域年金展開事業の概要 (1/2)

## 日本年金機構

### 本部 広報室

・広報計画のとりまとめ、広報実施計画の策定

連携

### 本部 各事業部

・年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携・共有

連携・共有

### 本部 事業推進統括部 管理・市区町村調整G

・各事業部及び広報室との連携・共有、発信する情報等の確認  
・地域部との連携・共有、指示等  
・地域代表年金事務所との連携・共有、指示、調整等の依頼等  
・年金事務所への情報提供、取組の指示等  
・年金委員への情報提供、活動の協力・依頼  
・関係機関・団体等との協力・連携、効果的な周知・啓発の取組

連携・共有

### 本部 地域部

・取組の進捗管理、指導、助言

連携・共有

### 地域代表年金事務所

・関係機関との連絡調整  
・年金事務所の状況把握

### 年金事務所

・地域年金展開事業の実施  
・年金委員等への研修、情報の提供、活動の要請

### 年金委員

・年金制度に係る周知・啓発

### 地域年金推進員

・高校・中学を対象に年金セミナーなどの活動

連携・共有

## 事業部の取組

- ・未適用事業所に係る取組
- ・適用に係る調査
- ・納付、免除等に係る取組
- ・年金給付にかかる取組 等

## 地域年金展開事業

～公的年金制度の周知・啓発～

- ①ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ②年金制度説明会
- ③年金セミナー
- ④出張年金相談会
- ⑤地域年金事業運営調整会議
- ⑥「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦「わたしと年金」エッセイ 等

連携・共有

## 対象

### 学生

取組: ①③⑥⑦

### 国民年金 被保険者

取組: ①②③④⑥⑦

### 厚生年金保険 被保険者

取組: ①②④⑥⑦

### 事業主

取組: ①②④⑥⑦

### 年金受給者

取組: ①②④⑥⑦

## 地域のネットワーク/協力・連携する機関

### 厚生労働省 ⑤

- ・年金局
- ・職業安定局
- ・保険局
- ・社会・援護局
- ・地方厚生(支)局

### 地域 ⑤

- ・地方自治体(市区町村、県庁)
- ・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
- ・地元企業
- ・教育機関(大学・高校・専門学校)
- ・商業施設・商工会

### 関係機関・団体 ⑤

- ・年金協会
- ・社会保険協会
- ・社会保険委員会
- ・社会保険労務士会
- ・社会福祉協議会
- ・健康保険協会各支部/各健康保険組合
- ・国民年金基金

# I. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

## 地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」等を実施します。
- ◆日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

### 地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に対し、オンラインまたは対面により、事務担当者や従業員、加入員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

### 年金セミナー事業

- ・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、生徒・学生向けの年金セミナーを実施。もしくは年金セミナー用動画（DVD）を配布。
- ・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの設置、配付の依頼等。

### 地域相談事業

- ・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

### 年金委員活動支援事業

- ・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。

### 地域年金事業運営調整会議

- ・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関の職員などを委員として都道府県単位で設置。

# Ⅱ．令和 6 年度事業実施結果報告

(令和 6 年4月～令和 7 年 3 月)

# 1. 地域連携事業 (1/8)

計画	実績	総括および課題
<div data-bbox="58 696 99 919" data-kind="parent" data-rs="3">市町村・官公庁</div> <div data-bbox="140 254 488 1158" data-kind="parent" data-rs="3"> <p>① 市町村や官公庁に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。</p> <p>② 市町村広報誌等を活用し、年金制度や出張相談に関する周知を行う。</p> <p>③ 市町村担当者向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。</p> </div>	<div data-bbox="534 254 1394 1229" data-kind="parent" data-rs="3"> <p>① 制度周知等に係るポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。</p> <p>また、市町や年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について報告を行った。</p> <p>② 市町村広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。</p> <p>③ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。</p> <p>(送付時期) ※奇数月に発行 5月、7月、9月、11月、1月、3月</p> </div> <div data-bbox="1152 334 1425 679" data-kind="parent" data-rs="3">  </div> <div data-bbox="1152 953 1425 1325" data-kind="parent" data-rs="3">  </div>	<div data-bbox="1456 254 2005 458" data-kind="parent" data-rs="3"> <p>○ 国民年金事業については、各市町村との緊密な連携、協力が不可欠であるとともに、無年金者や低年金者が生活保護制度に及ぼす影響も大きいことから、研修や意見交換の機会の充実をさらに進めていく必要がある。</p> </div> <div data-bbox="1580 676 1856 1051" data-kind="parent" data-rs="3">  </div>

## 1. 地域連携事業 (2/8)

市町村・官公庁

計画	実績	総括および課題																																																		
<div>④ 市町村職員への研修、説明会を定期的に実施する。</div> <div>⑤ 税務署に広報チラシの設置を依頼する。 また、確定申告会場での「ねんきんネット」利用勧奨を行う。</div>	<div>④ 市町村職員への研修、制度説明会を以下のとおり実施した。</div> <table><tr><th>事務所</th><th>実施月</th><th>実施回数</th><th>対象市町</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>長崎南</td><td>6・1月</td><td>4回</td><td>8市町</td><td>54名</td></tr><tr><td>長崎北</td><td>9月</td><td>1回</td><td>1市</td><td>1名</td></tr><tr><td>佐世保</td><td>5・11月</td><td>4回</td><td>5市町</td><td>22名</td></tr><tr><td>諫 早</td><td>6・12月</td><td>4回</td><td>8市町</td><td>25名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>－</td><td>13回</td><td>22市町</td><td>102名</td></tr></table> <div>⑤ 確定申告時の窓口混雑緩和のため、長崎県内税務署に「年金受給者の源泉徴収票再発行手続き」および「国民年金保険料控除証明書再発行手続き」に関するチラシの設置依頼を行った。 また、令和6年度は、新たな取り組みとして、税務署と連携して確定申告会場で、年金事務所職員が「ねんきんネット」の利用促進を行った。</div> <table><tr><th>事務所</th><th>実施日</th><th>会 場</th><th>登録者数</th></tr><tr><td>長崎南・北</td><td>2/17～3/13</td><td>長崎新聞文化ホール</td><td>71名</td></tr><tr><td>佐世保</td><td>2/17～3/12</td><td>佐世保税務署</td><td>47名</td></tr><tr><td>諫 早</td><td>2/25～3/17</td><td>諫早税務署</td><td>207名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>－</td><td></td><td>325名</td></tr></table>	事務所	実施月	実施回数	対象市町	参加者数	長崎南	6・1月	4回	8市町	54名	長崎北	9月	1回	1市	1名	佐世保	5・11月	4回	5市町	22名	諫 早	6・12月	4回	8市町	25名	合 計	－	13回	22市町	102名	事務所	実施日	会 場	登録者数	長崎南・北	2/17～3/13	長崎新聞文化ホール	71名	佐世保	2/17～3/12	佐世保税務署	47名	諫 早	2/25～3/17	諫早税務署	207名	合 計	－		325名	<div>○ 市町村の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。</div> <div>○ 確定申告会場において、「ねんきんネット」への利用登録は、一定程度の効果があった。 さらに利用拡大を図るため、令和7年度においても、税務署と協力連携を図る。</div>
事務所	実施月	実施回数	対象市町	参加者数																																																
長崎南	6・1月	4回	8市町	54名																																																
長崎北	9月	1回	1市	1名																																																
佐世保	5・11月	4回	5市町	22名																																																
諫 早	6・12月	4回	8市町	25名																																																
合 計	－	13回	22市町	102名																																																
事務所	実施日	会 場	登録者数																																																	
長崎南・北	2/17～3/13	長崎新聞文化ホール	71名																																																	
佐世保	2/17～3/12	佐世保税務署	47名																																																	
諫 早	2/25～3/17	諫早税務署	207名																																																	
合 計	－		325名																																																	



# 1. 地域連携事業 (3/8)

計画		実績		総括および課題									
社会保険労務士会	① 長崎県社会保険労務士会と定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供、情報共有を行う。	① ・毎月1回定例会を開催し、制度改正や事務取扱い変更等に係る情報提供を行うとともに、相談予約や電子申請の推進に関する協力依頼を行った。 ・年金相談センター長崎オフィスとの連絡会議（2ヶ月に1度）4月、6月、8月、10月、12月、2月に実施。 ・情報共有が必要な事項については、随時協議を開催。 ・機構と社会保険労務士会による連絡協議会を10月15日に実施した。		○ 年金受給開始年齢に到達する者の増加に伴う窓口来訪者の増加や、厚生年金保険手続きにかかる電子申請利用促進には社会保険労務士会との連携が不可欠なため、さらに協力連携を進めていく。									
	② 会員に対する研修会を開催する。	<table><tr><th>日時</th><th>場所</th><th>主な議題</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>10月15日</td><td>長崎南</td><td>各種届書の電子申請利用促進について オンライン事業所年金情報サービスの利用対象者の拡大について</td><td>13名</td></tr></table>				日時	場所	主な議題	参加者数	10月15日	長崎南	各種届書の電子申請利用促進について オンライン事業所年金情報サービスの利用対象者の拡大について	13名
		日時	場所			主な議題	参加者数						
		10月15日	長崎南			各種届書の電子申請利用促進について オンライン事業所年金情報サービスの利用対象者の拡大について	13名						
		②社労士会への会員向け「年金相談実務研修」を実施した。											
		<table><tr><th>日時</th><th>場所</th><th>主な議題</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>8月3日</td><td rowspan="2">長崎南</td><td>年金相談窓口業務における事務処理上の 注意点及び留意点（老齢・障害・遺族）</td><td>9名</td></tr><tr><td>1月18日</td><td>同上</td><td>3名</td></tr></table>				日時	場所	主な議題	参加者数	8月3日	長崎南	年金相談窓口業務における事務処理上の 注意点及び留意点（老齢・障害・遺族）	9名
日時	場所	主な議題	参加者数										
8月3日	長崎南	年金相談窓口業務における事務処理上の 注意点及び留意点（老齢・障害・遺族）	9名										
1月18日		同上	3名										

7

# 1. 地域連携事業（4/8）

計画		実績				総括および課題
全国健康保険協会	① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。	① 年金・健康保険業務連絡会議を下記のとおり開催した。				<p>○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や健康保険の給付と年金の給付など相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。</p> <p>○ 研修を通じお互いの事業内容などの理解を深め、視野を広げることは重要であり、今後も更なる協力連携を進めるため定期的な開催を目指す。</p>
			実施日	内 容	参加者数	
		長崎県	6月7日	令和6年度事業概況について 機構・協会けんぽ交流研修会について	9名	
	② 若手職員の交流研修会を開催する。		10月9日	令和6年度事業状況、現状等について 年金委員・健康保険委員功労者表彰式 及び研修会について 機構・協会けんぽ交流研修会について	9名	
		② 採用後1年目および2年目の職員を対象とした「日本年金機構・協会けんぽ交流研修会」を8月23日に開催した。				

# 1. 地域連携事業 (5/8)

計画		実績				総括および課題
全国健康保険協会	③ 全国健康保険協会長崎支部、長崎県社会保険委員会および長崎県社会保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。	③ 11月11日に年金委員功労者表彰式を開催した。 ※P19「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みを参照。				
	① 社会保険委員会主催の会議に出席し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。	① 長崎県社会保険委員会と事業連携し、年金制度の説明等を行うとともに、事業協力の要請を行った。				○ 長崎県各年金事務所における年金委員との活動連携と同様に長崎県社会保険委員会に対しても年金事業推進のために協力連携していく。
		委員会名	日程	内容	参加者数	
		長崎県	6月27日	長崎県社会保険委員会理事会 ・年金委員活動の活性化に向けた取り組み ・ねんきん定期便のペーパーレス化について	16名	
			3月25日	長崎県社会保険委員会支部長会議 ・年金委員活動の活性化に向けた取り組み ・令和7年度社会保険制度説明会について	9名	
佐世保	7月4日	社会保険委員会佐世保支部研修会 ・在職老齢年金について	11名			
社会保険委員会						

# 1. 地域連携事業 (6/8)

社会保険委員会

計画	実績				総括および課題
② 長崎南年金事務所において長崎地区年金委員対象の研修会を実施する。	② 社会保険委員長崎南・北支部委員に対し年金制度周知のため下記のとおり研修会を実施した。				○ 今後、社会保険委員会南北支部との協力連携を深め新しい企画等検討し、受講者の増加と併せ有意義な研修会となるよう努めていく。
	開催年月日		テーマ	参加者数	
	第1回	2月19日	老齢年金について	15名	
	第2回	3月18日	被保険者資格・報酬月額の適正な届出等について	6名	
	第3回	4月15日	健康保険料率の改訂および更なる保険事業の充実について	8名	
	第4回	5月20日	遺族年金について	9名	
	第5回	6月17日	算定基礎届・賞与支払届の留意事項について	10名	
	第6回	7月16日	健康経営宣言事業について	9名	
	第7回	8月19日	国民年金第3号被保険者および免除猶予制度について	9名	
	第8回	9月17日	電子申請、オンライン事業所年金情報サービスについて	9名	
	第9回	10月21日	障害年金について	9名	
	第10回	11月18日	マイナンバーカードと健康保険証の一体化について	8名	
	③ 全国健康保険協会長崎支部、長崎県社会保険委員会および長崎県社会保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。	③ 11月11日に年金委員功労者表彰式を開催した。 ※P19「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みを参照。			

10

# 1. 地域連携事業 (7/8)

計画		実績	総括および課題		
社会保険協会	① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。	① 社会保険協会発行の広報誌「社会保険ながさき」に記事を掲載し、情報提供を行った。(隔月)			
	② 社会保険協会主催の講習会講師の派遣を行う。	② 社会保険協会主催の講習会に講師として職員を派遣。 ※適用・年金給付：機構職員 健保給付：協会けんぽ職員・社会保険労務士			
					○ 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。
					○ 各年金事務所より担当者を講師として派遣し、全国健康保険協会長崎支部とも連携を図り、社会保険制度の周知を図ることができた。 今後も引き続き協力連携を図り講師派遣を行い、年金制度の周知に努める。

# 1. 地域連携事業 (8/8)

計画		実績								総括および課題	
企業・団体等	① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。	①以下のとおり年金制度説明会を開催した。								○ 各企業や団体等のニーズを的確につかみ、年金制度説明会を開催拡大するために積極的な周知広報を行う。	
			① 事業所		② 事業所 担当者		③ 関係団体		合 計		
			回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		人数
		長崎南	1	23	4	193	1	132	6		348
		長崎北	0	0	0	0	2	131	2		131
		佐世保	1	31	3	123	3	82	7		236
		諫早	1	13	4	288	0	0	5		301
		※①は、事業所からの要請による訪問説明会 ※②は、社会保険事務講習会等 ※③は、各種関係団体からの要請による訪問説明会									

12

## 2. 年金セミナ一事業 (1/3)

計画		実績	総括および課題
----	--	----	---------

地域年金推進委員	① 地域年金推進員の委嘱	① 長崎県高等学校長協会に対して協力依頼したが、現時点では定年延長の関係で委嘱は厳しい状況である。引き続き校長会等の会議時での募集について協力を依頼した。	○ 引き続き関係団体等を通じ委嘱を目指す。

年金セミナー	① 年金セミナーの実施に向け、教育関係機関への積極的な協力依頼を行う。	① 長崎県教育庁高校教育課、長崎県総務部学事振興課に対し、6月に「年金セミナーの開催」および「年金エッセイの募集」について協力依頼を行った。	○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、オンライン、対面式、動画（DVD）視聴といった多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、数あるセミナーの中から年金セミナーを選んでいただけるよう努める。
	② 高校・大学・専門学校等に対しアプローチを行い、各学校の状況や要望に応じた年金セミナーを開催する。	② 各学校の要望に応じて、以下のとおり年金セミナーを行った。	

年金セミナー		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	内訳		
							オンライン	動画視聴	対面
	高等学校	33	30	38	26	18	(1)	(8)	(9)
	大学短大	1	3	5	5	5	(0)	(0)	(5)
	専門学校各種学校	13	14	11	11	8	(0)	(2)	(6)
	合計	47	47	54	42	31	(1)	(10)	(20)

※ 動画視聴は、アンケートの返送があった学校のみを計上

13

## 2. 年金セミナー事業（2/3）

計画		実績			総括および課題	
令和6 年度年金セミナーの開催校実績	実施日	事務所	区分	対象校	参加者	開催形式
	4月4日	長崎南	大学	長崎総合科学大学	172名	対面式
	4月4日	長崎南	大学	長崎大学（経済学部）	302名	対面式
	5月30日	諫早	専門学校	長崎県立農業大学校	29名	対面式
	7月25日	佐世保	大学	長崎短期大学	52名	対面式
	8月8日、9日	長崎南	短大	長崎女子短期大学	103名	対面式
	8月9日	佐世保	専門学校	こころ医療福祉専門学校佐世保校	25名	対面式
	9月3日、27日	長崎南	専門学校	長崎美容専門学校	92名	対面式
	10月10日	長崎北	大学	長崎大学（多文化社会学部）	93名	対面式
	11月6日	諫早	高等学校	島原商業高等学校	75名	対面式
	11月12日	長崎南	専門学校	長崎歯科衛生士専門学校	45名	動画視聴
	11月20日	諫早	高等学校	小浜高等学校	40名	動画視聴
	11月21日	佐世保	高等学校	北松農業高等学校	59名	動画視聴
	11月28日	佐世保	専門学校	九州文化学園歯科衛生士学院	25名	対面式
	11月29日	諫早	専門学校	島原市医師会看護学校	26名	対面式
	12月4日	佐世保	専門学校	佐世保市立看護専門学校	76名	対面式
	12月16日	長崎北	高等学校	西彼農業高等学校	54名	対面式



## 2. 年金セミナー事業 (3/3)

計画		実績			総括および課題	
令和6 年度年金セミナーの 開催校実績	実施日	事務所	区分	対象校	参加者	開催形式
	12月16日	諫早	高等学校	鎮西学院高等学校	277名	対面式
	1月10日	佐世保	専門学校	公務員ゼミナル佐世保校	24名	動画視聴
	1月14日	長崎南	高等学校	五島海陽高等学校	66名	動画視聴
	1月29日	諫早	高等学校	島原高等学校	23名	動画視聴
	1月29日	諫早	高等学校	島原翔南高等学校	27名	対面式
	1月31日	長崎南	高等学校	五島南高等学校	25名	対面式
	1月31日	長崎北	高等学校	壱岐高等学校	50名	動画視聴
	2月3日	長崎南	高等学校	奈留高等学校	5名	オンライン
	2月4日	佐世保	高等学校	九州文化学園高等学校	223名	対面式
	2月6日	長崎北	高等学校	長崎明誠高等学校	44名	動画視聴
	2月6日	諫早	高等学校	諫早東高等学校	29名	対面式
	2月7日	長崎南	高等学校	中五島高等学校	13名	動画視聴
	2月12日	長崎南	高等学校	口加高等学校	31名	対面式
	2月21日	長崎南	高等学校	上五島高等学校	37名	対面式
	2月25日	長崎南	高等学校	長崎商業高等学校	236名	動画視聴

3. 地域相談事業（1/2）

市町村（出張年金相談）

計画	実績	総括および課題																																	
① 遠隔地の市町村において、定期的に出張年金相談を開設する。	① 各市町村における出張年金相談の実施結果は以下のとおり。	○ 遠隔地にお住まいの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。																																	
	<table><tr><th>事務所</th><th>実施月</th><th>市町</th><th>事業名</th><th>日数</th><th>相談者数</th></tr><tr><td>長崎南</td><td>毎月</td><td>新上五島町</td><td>出張相談</td><td>18日</td><td>88名</td></tr><tr><td rowspan="2">長崎北</td><td rowspan="2">毎月</td><td>西海市</td><td rowspan="2">出張相談</td><td rowspan="2">34日</td><td rowspan="2">157名</td></tr><tr><td>対馬市</td></tr><tr><td rowspan="2">佐世保</td><td rowspan="2">毎月</td><td>佐世保市</td><td rowspan="2">出張相談</td><td rowspan="2">38日</td><td rowspan="2">228名</td></tr><tr><td>管内4市町</td></tr><tr><td rowspan="2">諫早</td><td rowspan="2">毎月</td><td>島原市</td><td rowspan="2">出張相談</td><td rowspan="2">45日</td><td rowspan="2">276名</td></tr><tr><td>管内5市町</td></tr></table>		事務所	実施月	市町	事業名	日数	相談者数	長崎南	毎月	新上五島町	出張相談	18日	88名	長崎北	毎月	西海市	出張相談	34日	157名	対馬市	佐世保	毎月	佐世保市	出張相談	38日	228名	管内4市町	諫早	毎月	島原市	出張相談	45日	276名	管内5市町
	事務所		実施月	市町	事業名	日数	相談者数																												
	長崎南		毎月	新上五島町	出張相談	18日	88名																												
	長崎北		毎月	西海市	出張相談	34日	157名																												
				対馬市																															
	佐世保		毎月	佐世保市	出張相談	38日	228名																												
				管内4市町																															
	諫早		毎月	島原市	出張相談	45日	276名																												
				管内5市町																															
○ 離島など遠隔地に居住されているお客様に、年金相談を受けやすい環境を提供するため令和3年3月29日より、五島市ならびに壱岐市においてテレビ年金相談を実施している。																																			
<table><tr><th>市町村</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th></tr><tr><td>五島市</td><td>120名</td><td>138名</td><td>205名</td><td>170名</td></tr><tr><td>壱岐市</td><td>119名</td><td>83名</td><td>64名</td><td>67名</td></tr></table>	市町村	3年度	4年度	5年度	6年度	五島市	120名	138名	205名	170名	壱岐市	119名	83名	64名	67名																				
市町村	3年度	4年度	5年度	6年度																															
五島市	120名	138名	205名	170名																															
壱岐市	119名	83名	64名	67名																															

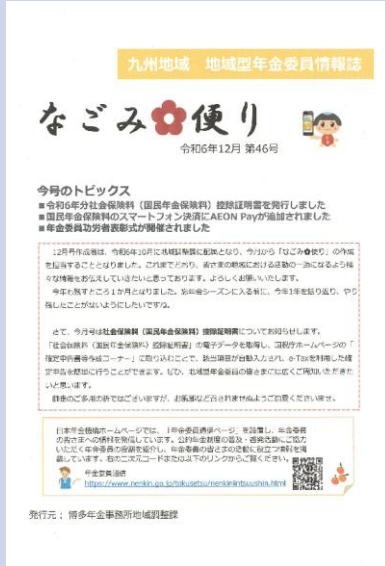
1

### 3. 地域相談事業（2/2）

計画		実績					総括および課題
特別支援学校	① 特別支援学校に対し、障害年金制度に係る制度説明会開催のアプローチを積極的に行う。	① 施設からの依頼により、以下のとおり年金制度説明会を実施した。					○ 特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、重点的に取り組みを進めた。  ○ 実施施設を増やすため、更に取り組みを進めていく。
		事務所	施設等	内 容	実施日	対象者数	
		長崎南	鶴南特別支援学校	障害年金関係	12月6日	19名	
		長崎南	佐世保特別支援学校高等部上五島分教室	障害年金関係	12月9日	30名	
		長崎北	虹の原特別支援学校壱岐分校（高等部）	障害年金関係	12月16日	17名	
		長崎北	鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室	障害年金関係	1月31日	22名	
		佐世保	佐世保特別支援学校	障害年金関係	2月3日	60名	
ハローワーク	① ハローワークと協力し、離職者に対する年金制度説明会を開催する。	① ハローワークにおいて、求職者や失業者に対する年金制度に関するリーフレット等を配布した。 また、リーフレットの設置にも協力いただいた。					○ 当該説明会の参加者には免除対象者が多いと見込まれるため、引き続き関係機関と連携して、工夫しながら相談会を継続していく。

4. 年金委員活動支援事業（1/2）

年金委員

計画	実績	総括および課題																																																		
<div>① 年金委員に対する定期的な研修会・意見交換会を開催する。</div>	<div>① 以下のとおり、年金委員に対して研修会等を開催し、年金委員の活動を支援した。</div> <div>・実務研修会の実施状況</div> <table><tr><th>事務所</th><th>実施日</th><th>地区</th><th>場 所</th><th>年金委員</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>長崎南 長崎北</td><td>11月11日</td><td>長崎</td><td>長崎県農協会館</td><td>職域型 地域型</td><td>54名</td></tr></table> <div>・地域型年金委員連絡会・地区連絡会の実施状況</div> <table><tr><th></th><th>実施日</th><th>場 所</th><th>参加者数</th></tr><tr><td rowspan="2">連絡会</td><td>6月26日</td><td>TV会議</td><td>4名</td></tr><tr><td>12月20日</td><td>TV会議</td><td>3名</td></tr><tr><td rowspan="3">地区連絡会</td><td rowspan="3">6月26日 12月20日</td><td>長崎南</td><td>22名</td></tr><tr><td>佐世保</td><td>13名</td></tr><tr><td>諫 早</td><td>10名</td></tr></table> <div>・全国年金委員研修の実施状況</div> <table><tr><th rowspan="2">実施日</th><th rowspan="2">場 所</th><th colspan="2">参加者数</th></tr><tr><th>職域型</th><th>地域型</th></tr><tr><td rowspan="4">11月11日</td><td>障害年金センター</td><td>1名</td><td>1名</td></tr><tr><td>長崎北</td><td>0名</td><td>8名</td></tr><tr><td>佐世保</td><td>14名</td><td>4名</td></tr><tr><td>諫 早</td><td>0名</td><td>5名</td></tr></table>	事務所	実施日	地区	場 所	年金委員	参加者数	長崎南 長崎北	11月11日	長崎	長崎県農協会館	職域型 地域型	54名		実施日	場 所	参加者数	連絡会	6月26日	TV会議	4名	12月20日	TV会議	3名	地区連絡会	6月26日 12月20日	長崎南	22名	佐世保	13名	諫 早	10名	実施日	場 所	参加者数		職域型	地域型	11月11日	障害年金センター	1名	1名	長崎北	0名	8名	佐世保	14名	4名	諫 早	0名	5名	<div>○ 年金委員は地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」であることから、研修会や情報提供を通じてしっかりと活動をサポートしていく。</div> <div>○ 地域型年金委員の組織的活動を活性化するため、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」および年金事務所単位の「地区連絡会」をそれぞれ設置し、半年毎に開催した。</div> <div></div>
事務所	実施日	地区	場 所	年金委員	参加者数																																															
長崎南 長崎北	11月11日	長崎	長崎県農協会館	職域型 地域型	54名																																															
	実施日	場 所	参加者数																																																	
連絡会	6月26日	TV会議	4名																																																	
	12月20日	TV会議	3名																																																	
地区連絡会	6月26日 12月20日	長崎南	22名																																																	
		佐世保	13名																																																	
		諫 早	10名																																																	
実施日	場 所	参加者数																																																		
		職域型	地域型																																																	
11月11日	障害年金センター	1名	1名																																																	
	長崎北	0名	8名																																																	
	佐世保	14名	4名																																																	
	諫 早	0名	5名																																																	
<div>② 積極的な情報提供を実施する。</div>	<div>② 新たな制度等に関するリーフレット並びに年金委員活動の推進・サポートを目的に、「地域型年金委員の手引き」「職域型年金委員の手引き」を送付した。</div> <div>地域型年金委員に対して情報誌「なごみ便り」を偶数月に送付し、情報提供を行った。</div>																																																			

4. 年金委員活動支援事業（2/2）

	計画	実績	総括および課題																								
年金委員	③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。	<p>③ 年金委員の推薦・委嘱について、関係機関や事業所に対し、文書送付・電話および事業所訪問によるアプローチを行った。結果として、令和5年度末の委嘱数から、地域型は13名の減少、職域型は64名の委嘱拡大を図ることができた。</p> <p>■委嘱数の推移</p> <p>(地域型年金委員)</p> <table><tr><th>年度</th><th>人数</th></tr><tr><td>令和2年度末</td><td>91名</td></tr><tr><td>令和3年度末</td><td>90名</td></tr><tr><td>令和4年度末</td><td>88名</td></tr><tr><td>令和5年度末</td><td>90名</td></tr><tr><td>令和6年度末</td><td>77名</td></tr></table> <p>(職域型年金委員)</p> <table><tr><th>年度</th><th>人数</th></tr><tr><td>令和2年度末</td><td>1,506名</td></tr><tr><td>令和3年度末</td><td>1,651名</td></tr><tr><td>令和4年度末</td><td>1,698名</td></tr><tr><td>令和5年度末</td><td>1,736名</td></tr><tr><td>令和6年度末</td><td>1,800名</td></tr></table>	年度	人数	令和2年度末	91名	令和3年度末	90名	令和4年度末	88名	令和5年度末	90名	令和6年度末	77名	年度	人数	令和2年度末	1,506名	令和3年度末	1,651名	令和4年度末	1,698名	令和5年度末	1,736名	令和6年度末	1,800名	<p>○ 地域型ならびに職域型年金委員は、日本年金機構が年金事業を推進するうえで地域や事業所と年金制度を結ぶパイプ役としてその役割が期待されているため、今後も委嘱拡大に努めていく。</p>
	年度	人数																									
	令和2年度末	91名																									
令和3年度末	90名																										
令和4年度末	88名																										
令和5年度末	90名																										
令和6年度末	77名																										
年度	人数																										
令和2年度末	1,506名																										
令和3年度末	1,651名																										
令和4年度末	1,698名																										
令和5年度末	1,736名																										
令和6年度末	1,800名																										

## 5. 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み（1/3）




	計画	実績	総括および課題
マスメディア	① 「ねんきん月間」や「年金の日」等について、マスメディアを活用した広報を行う。	① 長崎県政記者クラブに対し、以下のとおりプレスリリースを行った。 ・6月3日 令和6年度「わたしと年金」エッセイ募集 ・11月1日 「ねんきん月間」および「年金の日」のお知らせ	○ マスメディアを活用した周知広報は、年金制度を広く周知する上で効果的な手段であるが十分な取り組みができていない。他の地域の取り組みを参考にし、できることがないか検討する。
年金委員表彰式	① 年金委員功労者表彰式を開催する。	① 年金委員功労者表彰式を11月11日に長崎県農協会館で実施した。表彰式は健康保険委員表彰と合同で行い、長崎県社会保険協会の後援で行った。（参加者数54名） 受賞者：厚生労働大臣表彰 1名 日本年金機構理事長表彰 4名 日本年金機構理事表彰 9名	○ 全国健康保険協会、社会保険委員会と事前の打ち合わせを行い、円滑な式の運営ができた。また、社会保険協会との共催も関係団体としての連携を深める効果があった。



（※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいております。）



5. 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み（2/3）

計画		実績	総括および課題																							
各年金事務所の取り組み	① 各年金事務所において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取り組みを実施する。	① 今年度についても、市町、年金委員、長崎県社会保険労務士会、地域年金事業運営調整会議委員にポスター・リーフレットを送付し、「ねんきん月間」「年金の日」にかかる取り組みについての周知・広報の協力依頼を行った。 <div></div>	○ 国民の皆様には年金制度を広く知っていただく大切な機会であることから、工夫を凝らした取り組みを検討する。																							
	① 「わたしと年金」エッセイ募集に係る広報・アプローチを積極的に行い、応募につなげる。 <div></div>	① 「わたしと年金」エッセイの応募数増加に向け、市町村、教育関係者、教育機関に加え、社会保険労務士会や全国健康保険協会などの関係機関に対し協力依頼を行った。  応募数は以下のとおり。 <table><tr><th>年 度</th><th>一 般</th><th>学 生</th><th>計</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0件</td><td>12件</td><td>12件</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1件</td><td>12件</td><td>13件</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr></table>	年 度	一 般	学 生	計	令和2年度	0件	0件	0件	令和3年度	0件	12件	12件	令和4年度	1件	12件	13件	令和5年度	0件	0件	0件	令和6年度	0件	0件	0件
年 度	一 般	学 生	計																							
令和2年度	0件	0件	0件																							
令和3年度	0件	12件	12件																							
令和4年度	1件	12件	13件																							
令和5年度	0件	0件	0件																							
令和6年度	0件	0件	0件																							

※厚生労働大臣賞表彰作品を次ページに掲載

## 5. 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み（3/3）

計画	実績	総括および課題
「わたしと年金」エッセイ	<p style="text-align: center;"><b>厚生労働大臣賞 石川県 室田 律子 様（40代）</b></p> <p>「キャーッ！！」私の叫び声が近所中に響き渡った。突然、夫が白目になって意識を失い倒れたのだ。近所の人達に見守られながら、彼は救急車で病院に運ばれた。持病もなく健康体そのものだったのに…</p> <p>病名は原因不明の脳炎だった。主な症状は痙攣、発熱、頭痛、意識障害だが、現在でも死亡する人もいる。元通りの状態になる人もいれば、記憶障害や高次脳機能障害などの後遺症のために、社会復帰が困難となる重い病気だ。</p> <p>私は深く、深く、絶望した。人工呼吸器を着けて眠る夫の横で泣きに泣いた。彼が倒れた日は、ちょうどお腹の子が生まれる予定日の1か月前の日だったのだ。子供に会う日をあんなに楽しみにしていたのに、この人は助かるの？助かったとしても、私達の事が誰かわかるの？どうやって今後生活をしていけばいいの？色んな思いがグルグル頭を巡った。神様はなんて意地悪なのと何度も何度も思った。</p> <p>夫の意識が戻らないまま、私は男の子を出産した。夫は13歳の時に父を亡くして、いつも父親のいない子供の気持ちは自分が1番解ってると言ってた。だからこそ私達をおいていくはずがないと思えた。私が夫と子供を守っていくしかない強く決心した。</p> <p>夫が目覚めたら何とかなると期待は虚しく、彼の後遺症は予想以上に重く、私が誰かわからなくなっていた。もちろん子供の事も。言葉も忘れてしまい、会話も出来ない状態だった。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士によるリハビリが始まった。だが回復の兆しはなく、大人用と子供用のオムツを抱えながら、私は心が折れないよう、踏ん張るのが精一杯だった。そして入院から415日経った日に夫は退院した。息子は既に1歳になっていた。</p> <p>私は家族を養えるよう、専門職に就こうと決めた。ファイナンシャルプランナーの勉強中に年金という分野に出会い、社会保険労務士を目指すことにした。その知識のおかげで路頭に迷わず、本当に救われた。</p> <p>夫は会社員だったので傷病手当金を申請し、1年半後に障害年金を請求した。障害年金1級の証書を受け取った時、私はその場で握り締めながら泣き崩れた。彼の症状は重いと判断された事はやはりショックだった。だが、これで私達の生活は当面は守られると安心出来たのだ。そして病気で退職したため、失業保険の延長手続きをして、傷病手当金受給後には特定求職者として通常よりも長い期間受給が出来た。出産費用は出産育児一時金で賄えた。高額療養費制度で長期間の入院費はかなり助けられた。そうやってあらゆる社会保険制度のおかげで、私達家族はずっと守られたのだ。</p> <p>あれから17年経った今、夫は長いリハビリの甲斐があり、社会復帰し、働いている。赤ちゃんだった息子は、高校2年生になった。そして私は社会保険労務士になった。</p> <p>この素晴らしい社会保険制度に携わる仕事に誇りを持っている。あの時助けられた私が、次は困っている誰かの一助になればと思っている。それが私に出来る恩返しだ。年金の仕事もしている。家族が病気でどうしたらいいかと落ち込んでいる人や、大事な人が亡くなってこれからの生活に困っている人達に社会保険制度が守ってくれるから安心して伝えたい。もちろん、「保険」なので加入しないと保証はされない。自分は健康だから関係ないと思っている人も、いつ病気になるかもわからないし、事故で障害を負うかもしれない。だから関係ないなんて絶対に思わないで欲しい。「年金制度が破綻する」など誤った情報に惑わされないよう、制度をしっかりと伝え、必要な人に、必要な制度を届けられるよう、これからも私は励み続けるでしょう。</p> <p>最後になりますが、私達家族を守ってくださり心より御礼申し上げます。あの時、障害年金を受給出来たおかげで、夫は社会復帰出来て、息子は立派に成長し、私は社会保険労務士になれました。</p>	



6. 地域年金事業運営調整会議

運営調整会議

計画	実績	総括および課題				
<div>① 地域年金事業運営調整会議を開催し、取り組み状況を報告する。</div> <div>② 地域年金事業運営調整会議委員に、年金制度や事業に関する情報提供を行う。</div> <div>③ これまでいただいた会議における提言を取り組みに反映させる。</div>	<div>① 令和6年度の地域年金事業運営調整会議は、下記により開催した。</div> <table><tr><th>会議</th><th>主な議題・参考資料</th></tr><tr><td>令和6年8月 対面開催</td><td><div><div>・令和5年度事業実施結果報告</div><div>・令和6年度事業計画 (参考資料)</div><div>・令和5年度における主な事業の取り組み状況</div></div></td></tr></table> <div>② 地域年金事業運営調整会議委員に、「ねんきん月間」や「年金の日」にかかるポスター・リーフレットを送付し、各種取り組みへの協力依頼を行った。</div> <div>③ いただいた主なご意見について、引き続き検討を進めより効果的な取り組みや新たな観点からの施策につなげていく。</div>	会議	主な議題・参考資料	令和6年8月 対面開催	<div><div>・令和5年度事業実施結果報告</div><div>・令和6年度事業計画 (参考資料)</div><div>・令和5年度における主な事業の取り組み状況</div></div>	<div>○ 委員の皆様のご意見をしっかりと事業に反映できるような仕組みを引き続き構築していく。</div>
会議	主な議題・参考資料					
令和6年8月 対面開催	<div><div>・令和5年度事業実施結果報告</div><div>・令和6年度事業計画 (参考資料)</div><div>・令和5年度における主な事業の取り組み状況</div></div>					

23

# Ⅲ. 令和7年度事業計画

令和7年度については、年金制度に対する正しい知識と理解を深め、制度加入や保険料納付に結び付けるため、地域、企業、教育等の様々な場において、年金制度の普及・啓発活動を行う「地域年金展開事業」を推進する。

特に以下について重点的に取り組む。

## (1) 「基幹業務推進活動」の重点取組方針

- ①オンラインサービス及び外国人への適用・収納対策の推進
- ②関係機関・団体等との協力連携の推進
- ③年金委員活動の活性化

## (2) 「普及・啓発活動」の重点取組方針

- ①ねんきん月間、年金の日を中心とした「こども絵画展」等の全国展開
- ②関係機関・団体等の協力連携

# (1) 地域連携事業

市町村、自治会、事業所、関係機関・団体等と協力連携し、年金制度説明会をはじめとする地域に根付いた情報提供活動を実施するとともに、その活動を通じて基幹事業の推進を図る。

## ① 関係機関・団体等と連携した取り組み

- ・市町村、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
- ・市町村担当者への研修や事務打合せ会を定期的に行う。開催にあたっては、研修テーマ、開催方式について市町村担当者のニーズを十分に聞き取り、効果的に実施する。
- ・市町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。
- ・関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
- ・地域年金事業運営調整会議委員と連携し、制度周知等を行う。
- ・社会福祉協議会等と連携し、国民年金保険料の免除手続き等に関する制度周知等を行う。
- ・関係機関・団体等と連携し、外国人への適用・収納対策やオンラインサービスの推進に取り組む。

## ② 企業や団体に対する年金制度説明会の開催

- ・企業や団体等に対する年金制度・事務手続き説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について広く周知・広報し、オンラインサービスの利用促進、事務手続きの適正化を図る。

## ③ 市町村広報誌等の活用

- ・市町村広報紙等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
- ・社会保険協会発行の広報誌に記事等を掲載する。

## (2) 年金セミナー事業

高校生や大学生等の若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、年金制度が身近で重要なものであるとの認識を深めていただき、適正な加入や保険料納付等に結び付けるため、教育関係機関と連携し、年金セミナーを実施する。

### ① 年金セミナー実施に向けたアプローチ

- ・教育関係機関に対し、年金セミナーの実施や年金エッセイの募集について協力依頼を行う。
- ・中学校、高校、大学、専門学校等に対し、動画のURLを記載した案内文書やリーフレットの送付、電話勧奨等のアプローチを積極的に行う。また、幼稚園・保育園、小学校へのアプローチを検討する。

### ② 年金セミナーの実施および内容の充実化

- ・受講者との対話を取り入れた対面式セミナーやオンラインセミナー、動画視聴など、各学校のニーズや環境に応じた多様な年金セミナーを実施する。
- ・年金セミナー実施後のアンケート結果や先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や資料を工夫する。
- ・年金セミナー講師育成のための研修やコンテストを充実させる。

## (3) 地域相談事業

地域における年金相談や制度説明会を通じ、年金制度への理解を深めていただくため、自治体や教育機関、商業施設等に出向き、出張年金相談を実施する。

### ① 市町村等における出張年金相談の実施

- ・年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を実施する。

### ② 教育機関と連携した年金相談の実施

- ・若年層への制度周知や国民年金保険料収納対策を目的として、大学や専門学校等において年金相談を実施するとともに、学生納付特例の案内を行う。

### ③ 社会福祉施設における障害年金制度説明会の実施

- ・特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会実施に向けたアプローチを行う。
- ・特別支援学校等の教職員や保護者に対し、ニーズに応じた多様な制度説明会を実施する。

### ④ ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた国民年金制度説明会の実施

### ⑤ 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施

## (4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

地域や職場等で活動する年金委員に対し、研修や定期連絡会等により必要な情報を提供するとともに、活動要請を行う。また、年金委員制度を広く周知し、新たな年金委員の委嘱拡大に関する取り組みを実施する。

### ① 定期的な研修・連絡会の実施

- ・厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会を実施する。
- ・Web会議サービスを活用する等、年金委員が参加しやすいよう開催方法を工夫する。
- ・地域型年金委員連絡会を半期に1回開催し、組織的活動の活性化を図る。

### ② 必要な情報提供および制度周知への協力依頼

- ・上記①での情報提供の他、「年金委員活動の手引き」や情報誌「なごみ便り」を送付し活動支援する。
- ・各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付する。
- ・「年金委員通信」等、日本年金機構ホームページを充実させる。
- ・地域型年金委員に対し、地域住民への制度周知のため、チラシ配布等を依頼する。
- ・職域型年金委員に対し、職場内での制度周知を依頼する。

### ③ 委嘱数拡大に向けた取り組み

- ・地域型年金委員については、高齢者や生活困窮者、若年者、外国人等への幅広い周知・啓発等の年金委員活動を展開するため、新規委嘱に取り組む。
- ・職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付し、委嘱拡大を図る。
- ・年金委員功労者表彰式を共催する全国健康保険協会長崎支部および長崎県社会保険委員会連合会と連携し、委嘱拡大に向けた検討を行う。

## (5) 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

1 1月の「ねんきん月間」や1 1月3 0日の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動を実施する。

### ① 年金委員功労者表彰式の開催

### ② 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施

- ・年金セミナーや年金制度説明会を実施し、併せて、ねんきんネットの利用促進を図る。
- ・地域社会との繋がりを深め幅広い世代への制度周知を図る。

### ③ 「わたしと年金」エッセイ募集

- ・教育機関や関係団体に対し広報およびアプローチを行い、応募数並びに応募機関の増加を図る。また、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈する。

## (6) 地域年金事業運営調整会議

地域年金展開事業の事業計画に係る今後の取り組み方針や実施結果を報告し、効果的かつ効率的に事業運営や基幹事業の推進を図るため、地域の有識者より意見・助言を伺う。

### ① 開催時期

令和7年8月2 0日（水）

### ② 主な議事

事業計画、事業実施結果の報告、事業における重点施策 など